

令和5年度 学校運営協議会実施報告書

協議会名		学校運営協議会
日時		令和5年10月27日（金）18:00～20:00
場所		大田区立入新井第二小学校 家庭科室
出席者	委員	菅原清、岩井克文、渡部仁、武山清、小野博、坂本望、奥田和子、市倉博子、金子竜之、金澤理枝、木村晃一、山口美由紀
	委員以外	校長、副校長 チーム入二コーディネーター（4名）兒玉萌、長門智恵、途中美菜子、小菅紗紀 教育総務 東山様
議題		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校長より             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童、教職員の現状報告</li> <li>(2) 直近の行事や取り組みについて</li> </ol> </li> <li>2. 熟議             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校への協力体制について</li> </ol> </li> <li>3. その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) その他意見</li> <li>(2) 教育総務課より</li> </ol> </li> </ol>
協議内容 要旨		協議結果
		意見概要
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築事業があることの利点を地域・保護者に伝える。</li> <li>・来年度の「入二まつり」などの行事には、保護者も参加できるように検討していく。</li> <li>・不登校対策委員会以外に昨年度もやっていた不登校支援会議を定期的に開催する。（頻度は隔月か毎学期）</li> </ul>
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校長より             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童、教職員の現状報告                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度との違い学校が落ち着いている、子どもが前向きに取り組んでいる。先生たちも子どもに笑顔で寄り添っている。</li> <li>・いじめは今年度1件も報告が無いが、不登校児童が多い状況は続いている。今年度は登校支援の方の協力や面談により登校できるようになったり、つばさ教室や、教育相談等つなげる方法で支援をしている。また、不登校児童の状況把握をしっかりと行った。</li> <li>・登下校中の6年生を注意した時の6年生の言葉遣いが悪かったというクレームが地域の方からあった。全校指導とクラス指導をする。</li> <li>・5年1組の担任が山田教諭に交替した。</li> <li>・教員の残業は昨年度より15%削減できている。水曜日の定時退勤を推進している。</li> </ul> </li> <li>(2) 直近の行事や取り組みについて</li> </ol> </li> </ol>

- ・今後の予定としては学芸会、ダブルタッチがある。
- ・今年は給食便りや給食試食会など食育に力を入れている。
- ・チーム入二の活動として、日本工学院専門学校アニメ科のイラスト講座を行った。今後、大田区新教科で「おおた未来づくり」ができるので、映像作りなど引き続き日本工学院専門学校と連携していきたい。
- ・新井宿5丁目町会役員会で「コミュニティ・スクール」についての説明を行った。朝の見守りなどをお願いしたいと思っている。
- ・PTA から室内遊びの用具を購入いただいた。けん玉大会、将棋大会など目的をもって遊ばせるようにしたい。
- ・入二まつりは児童がみんな楽しく活動できていてよかった。
- ・人権教育、「認知症を知る」「平和教育」も有意義な場だった。
- ・2年生の昔遊びが復活するので、民生委員が協力して参加する。
- ・「コミュニティ・スクールを知る」もやる予定。

《委員から》

○食材費の高騰で、材料の質は下がらないか？

→大田区が給食無償化にしているので、影響が無いようになっている。

○給食のレシピがほしい。

→対応します。

・学校公開では教師と児童の関わりを見れたのがよかった。

## 2. 熟議

### (1) 学校への協力体制について

・朝遊びの見守りをしてくれる人材を探したい。→見守り以外にも何か行く目的があれば人材も増やせると思う。イベントなどで地域の方が学校に来る機会があれば学校を知ってもらい見守りなどに参加してもらえるのではないかと考える。

・登校支援が入るとその児童の保護者の意識が変わるため良い傾向にある。保護者と学校と一体になって支援できている。

・「夏のわくわくスクール」は、今年は全てのイベントが開催できた。

・チーム入二の協力で、家庭科のミシンの授業の支援に来てくれている。今後は学校の装飾などの仕事も地域の方に頼みたい。

・参加する人数が増えれば1人ひとりの負担も減る。また、お茶会など、来てくれた後に会話する場があればいいかもしれない。

・父親は平日が仕事で参加できないことが多いため、土日で何か協力できることがあればいい。

・ゲームが好きな不登校児童のために、日本工学院専門学校の方に協力を仰いでゲーム製作や鉄道模型などを使って登校に持ち込めないか。

・入二の特別支援が他校に比べて充実していない印象を地域の人も持っていると聞いている。

→特別な支援が必要な児童は、入新井第一小の固定級に行く体制になっている。入二のサポートルームも待機児童が多く、拠点校であるため充実はしている。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校がこれからどうしていきたいかを地域や保護者に知ってもらい興味をもってもらうことが大事と考える。</li> </ul> <p>3. その他</p> <p>(1) その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開で1年生が授業で座れずに席を立つ児童が多いのが印象的だった。</li> <li>・教室を出た児童が校門から外に出ようとしていた場面に遭遇した。教室を出た児童にも目が届くようにしてほしい。→人を増やす必要がある。</li> <li>・地域の方が学校で活動する際に、児童に声をかけたり、コミュニケーションを取ったりしやすくなるように名札を大きくしてほしい。ふりがなも付けてほしい。</li> <li>・校舎の建て替えをポジティブに考えられる取り組みがあるといい。校舎が生まれ変わる時期にいられることの良さを伝えるとよい。</li> </ul> <p>→解体する校舎に絵を描いたり、新校舎に保護者や地域を案内するのもいい。</p> <p>→模型とか詳しいロードマップを見せるのも良いかもしれない。</p> <p>→改修があるから子どもを他の学校に入学させたいと考える保護者もいるので、保護者や就学前児童の保護者に理解を促す取組をすると良い。</p> <p>(2) 教育総務課より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろ意見が出て有意義な学校運営協議会になっていると思いました。</li> <li>・人数が多く意見を出しきれてないこともあるので、小グループにして意見を出しやすくする場の設定にする方法もある。</li> </ul>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育活動 VTR</li> </ul>
備考	